

歴史カフェ会津					
業種	卸売・小売業	事業所所在地	鳥取県倉吉市	資本金	10,000千円
		売上高	非公開	従業員数	3名

 	被承継者（左）		
	水田 義夫	72歳	※承継時
	承継者（右）		
	松林 安美	25歳	※承継時

事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係
2020年10月	子ども
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題
戦後直後から時計店に業種を変え、75年地元で根差して営業してきた老舗時計店。時計の修理、電池交換、バンド交換、時計の販売等を行う。被承継者の技術や丁寧なアフターサービスが人気で、地元のお客様や全国各地からお客様が来店する。近年では、アニメリズムのイベント時で100人以上のお客様で賑わう。	・人材の獲得や維持 被承継者が大病を患い一時は閉店を考えた。近隣の時計店は高齢化や後継者不在で閉店したため、当店が最後の店舗となった。50年以上の常連のお客様をはじめ多くの方から惜しむ声をいただいたので、どうすれば継続して営業できるかが課題であった。

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 1年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
被承継者が大病を患い、病室で一人娘である承継者に「頼むから継いでほしい」と言われたたことがきっかけだった。	そのまま既存事業の時計店を承継するだけでは、事業継続の可能性に不安があった。どうすれば何十年先も続いていか話した。承継者の強みである料理を生かし、さらに親子ですと極めてきた歴史要素をプラスした歴史カフェを併設した時計店にできないかと構想した。	病気が日に日に悪化し、手先が不自由で脳の機能も低下しており、経営や技術などほぼすべての引継ぎが不可能であったこと。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	店舗改装工事中、時計の電池交換等を一切受け付けず、事業承継の準備に集中する期間とした。その間、100件以上のお客様が再開まで待つと言ってくださり、とても励みになり、支援機関の手厚い支援や業者の皆様のお陰でスムーズに事業承継が行えた。	被承継者が病気のため、1人でまったく未経験の業務すべてを習得するしかなかった。多くの常連のお客様も大切にしながら他業種であるカフェやインバウトのある歴史要素も掛け合わせ、新規顧客を獲得していける経営ができるか不安だった。

これに一番苦労した！
被承継者が大病を患いながらの承継であったため、途中で暴れ出したり緊急入院したりする中で微動だにせず、冷静に物事を的確に判断し、期日を守り、業者の皆様がスムーズに工事を行えるよう努めることに苦労した。どんな時もまったく知識のなかった承継者の私に、親身に丁寧に的確なアドバイスやサポートをしてくださった支援機関の担当者の方のお陰で乗り越えられた。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 当補助金の申請から実績報告までのフォロー 事業計画、資金計画の策定 経営革新計画の策定など
いつから相談？	
承継実行の 1年前	
相談のきっかけ	倉吉商工会議所、鳥取県よろず支援拠点の担当者の方には、心より感謝いたします。
以前から取引や付き合いがあった	

経営革新等に係る取組の標題

幅広い年代層のニーズに対応できる時計店を併設したカフェの開業

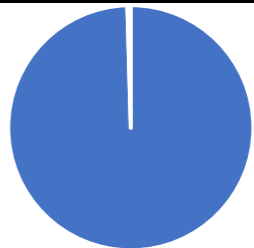
経営革新等に係る取組の内容	事業転換による新分野への進出
---------------	----------------

●被承継者は、地元である倉吉市で75年に渡って時計の販売、修理、電池交換、バンド交換等を行う老舗時計店を営んできたが、高齢に加えて大病を患ったことで一時は廃業を考えていた。そこで、承継者は事業承継を機に、地域ニーズの高い既存事業である時計店を大切に残しながら、承継者の強みである料理と被承継者と承継者が物心つく前から極めてきた歴史を生かした歴史カフェを新たに併設する計画を立てた。

●そのため、本補助金を活用して、各種許可申請に必要な店舗改装工事を行い、リピート客の増加と来店サイクルを短縮するためにスタンプカードを作成した。また、50年以上の常連のお客様である高齢のお客様と若い世代どちらのニーズにも応えられるサービスやメニューの開発、平日と休日でターゲットを分けて営業するなどの独自戦略を認定経営革新等支援機関とともに策定し、実行した。

●全国的に高齢化・顧客の減少等により減少傾向にある時計店では、人が集まること自体極めて少ないため、カフェを併設することで『誰かに会いたいとき、ゆったりとした素敵な時間を過ごしたいときに、時計店に行く』という新たな価値を提供し続けたい。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
これまでなかなか鳥取県が獲得できなかった、全国各地に数多く存在する歴史ファンという新たな観光客層や若い世代の観光客の獲得に貢献し、自店舗のみならず近隣の店舗や宿泊業にも経済効果をもたらしている。また、これまで光が当たらなかった地元の歴史にも光が当たるような情報発信やメニュー開発に加えて、地元農家の野菜を大量に使ったメニュー展開、近隣の店舗と合同のイベント開催等を通じて地域の様々な関係者、取引先と連携して地域経済に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> 設備費 外注費 
	経費の主な使い道
	設備費：店舗改装工事費 外注費：スタンプカード制作費

認定経営革新等支援機関の名称：倉吉商工会議所			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

事業承継をするにあたり県や市に該当する補助金がなく、本補助金の紹介から申請に向けて事業計画や資金計画、経営革新戦略の策定を一緒に行った。各種提出書類の作成支援、補助事業実施中も事業完了報告書まで最初から最後まで親身に丁寧にサポートしていただいた。

今後に向けて～次の目標	
2020年から2023年に向けて	まずは、これまでの常連のお客様、地元のお客様には平日を中心に定期的に毎日でも来店していただけるような店舗・メニューづくりを行っていく。そして、平日の夕方以降は若い世代にも来店していただけるようなサービスを提供する。土日などの休日は、独創的な歴史メニューやイベントを実施し、若い世代の居場所にする。全国唯一無二の歴史要素をどんどん打ち出し、全国から歴史カフェ会津を目指して鳥取県を訪れていただけるようなお店を目指していく。
営業利益	200 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
こんなありがたい制度を知ることができ、また活用することができ、感謝しています。店舗改装で店が生まれ変わり、若い世代のお客様もより来店しやすい環境が整ったと感じます。承継後の開店の際には、驚くほど多くのお客様が来店してくださりました。時代に合わせて柔軟に変化していく大切さを学びました。	当店は、鳥取県倉吉市唯一の商店街に位置しており、その商店街の特徴として赤字や資金繰りが厳しくて閉店したのではなく、高齢化や後継者不在による閉店がほとんどであり、また、経営者の高齢化が顕著であります。コロナ禍でさらに暗くなる商店街の中で、この時期に20代の自分が新しい風を明るく吹かせることで、自分の店だけではなく周りのお店も元気にしたいという一心で駆け抜けた事業承継でした。事業承継補助金に挑戦したことで各種計画をしっかりと練ることができ、人間的にも大きく成長できたと感じております。